

## 2. 研究課題概要

課題 1. 「医療従事者のための足病治療・ケア」と補考には、常に免荷を考えて治療すること、治療中 TCC(Total Contact Cast)やオーダーメイドの靴作りを考慮すること、歩行を獲得するために中足骨を長く残す手術が必要であること等の下肢特有な治療法について書いた小冊子を出版・配布し、足病の正しい理解と早期発見・早期治療を普及・啓発する。

研究代表者 大浦武彦

杏林大学医学部 形成外科 大浦 紀彦

福岡大学医学部寄付研究連携 形成外科学 創傷再生学講座 秋田 定伯

課題 2. 日本透析医学会の全数調査データから連結した透析患者について多変量解析を行い、四肢切断に至る要因を検出する。

医療法人社団豊済会 下落合クリニック 糖尿病・腎臓内科 菊地 勘

広島大学大学院医歯薬保健学研究院・統計学・疫学・疾病制御学 田中 純子

課題 3. 平成 28 年度診療報酬改定で、慢性維持透析患者の下肢末梢動脈疾患指導管理加算が新設された。本施策により、一般透析施設の透析患者は下肢血流障害を適切に評価され、他の医療機関との連携により早期治療をする流れが確立した。その実態は地方厚生局に報告されていくことから、下肢末梢動脈疾患の切断回避へ向かっていると推察され、短期間の成果しか確認できないが、その成果について透析医学会リストと関東地区透析施設、九州、北海道における 3 ブロックの透析施設においてアンケート方式で調査する。

3-1 透析患者における末梢動脈疾患の管理および下肢血流評価に関するアンケート

医療法人社団豊済会 下落合クリニック 糖尿病・腎臓内科 菊地 勘

3-2 北海道・九州地区アンケート調査について

北海道地区 仁榆会病院 前野 七門

伊丹腎クリニック 伊丹 儀友

九州地区 医療法人こもたクリニック 菰田 哲夫

福岡赤十字病院腎臓内科 伊豆丸堅祐

研究協力者

北海道医療大学看護福祉学部 志渡 晃一

北海道医療大学看護福祉学部 米田 政葉

### 3-3 全国都道府県の登録数と透析施設との割合

課題 4. リハビリテーションの PT・OT と連携し、歩行見込みのある患者へ足病の治療前 or 治療中から介入し、サルコペニアを改善できるかについて遡及的研究を行う。

神戸大学医学部附属病院 形成外科 寺師 浩人

研究協力者

神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域 前重 伯壮

星城大学リハビリテーション学部 理学療法学専攻 林 久恵

茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 理学療法学科 河辺 信秀

課題 5. 献腎移植患者の足・下肢病の状態、重症化状態への進行と、患者腎機能、ADL などについて、背景因子を均等化して、慢性透析患者のそれとを谷口雅彦分担研究者を中心に比較検討する。

聖マリア病院 移植外科 谷口 雅彦